

第42回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会北海道予選会

大会展望

11月11日から13日にかけてウィンターカップ北海道予選が行われる。参加は男女各26校の計52チーム。開催地は函館市、メイン会場は函館市民体育館。

男子はシード権を有する4校を中心とした戦いになりそう。その中でも軸となるのは第1シードの白樺学園と第2シードの札幌日大。白樺学園は念願のインターハイ出場を決めた今夏の旭川全道大会では優勝しながらも、リーグ最終戦での札幌日大戦で痛い負けを喫している。ベスト4までは順当に勝ち上がりそう。決勝に進出し夏のリベンジを果たしたいところだ。札幌日大は激戦の札幌地区予選で危なげなく優勝、今大会の優勝に一番近いチームと言えそう。札幌日大のブロックには恵庭南、札幌工業、旭川工業、帯広工業といった実力ある学校がひしめきあう。準々決勝での札幌日大への挑戦権をかけ、し烈な争いに注目が集まる。第3シードの札幌月寒は2回戦で海星学院、準々決勝では北海道栄と札幌平岸の勝者との対戦が予想され、非常に厳しい戦いが予想される。この混戦を抜け出しベスト4に進出するのは一体どのチームになるのか、全く予断を許さない。第4シードの旭川大学にも優勝を狙える力がある。全国への切符は1枚、混戦を制し優勝するのはどのチームになるか、熱戦に期待したい。

女子は、やはり第1シードの札幌山の手が軸となる。日本代表の長岡を擁する山の手が他チームを高さ、速さで一歩も二歩もリードしている状況に変わりは無く、どのような試合運びをするのかに注目が集まる。山の手が続くのは第2シードの創成。創成は初戦での対戦が予想される海星学院戦をしっかりと戦い波に乗りたいたいところ。決勝に進出し、山の手をどこまで追い詰めるか、意地を見せたいところ。第3シードの帯広南商業は組み合わせにも恵まれベスト4までは順当に勝ち上がりそう。第4シードの札幌東商業は旭川明成、北星学園女子との戦いが予想されるがベスト4に進出する力は十分にある。国体2連覇と北海道高校女子のトップ選手は全国でもトップレベルの技術をもつ。多くの方がその素晴らしさを会場で感じることを期待したい。

平成23年10月20日